

「どうして私がいじめられなければならないの…」

幸子の心からの叫びは

クラスのみんなに、おたがいを思いやる心を芽ばえさせていく

くもりのち晴れ



企画／北九州市

北九州市教育委員会

北九州市同和問題啓発推進協議会

上映時間 40分

16ミリ版 250,000円

ビデオ版 80,000円

価格は税抜(□#6371)

1996年作品

文部省選定

教育映画祭優秀作品賞



東映株式会社 教育映像営業部

〒104 東京都中央区京橋2-4-12

☎03-3272-5191

FAX.03-3273-7949

製作意図

私たちには、自分なりの誇りや希望をもつて、幸せに生きる権利があります。しかし、私たちの生活の中で、不当にその権利を侵される問題があります。その一つがいじめです。この映画は、いじめのために言葉を失った一人の少女の話をきっかけに、先生を中心にクラス全員が学び成長した実践の記録をもとにアニメ化したものです。

この実践を通して、生徒たちは、いじめが自分たち一人ひとりの問題であり、身近な人権問題であることに気づいていきます。

いじめの恐ろしさは、人間が人間の尊厳を踏みにじり、知らず知らずのうちに相手の人格を傷つけることです。そして、それは自分の人間としての誇りや尊厳をも自ら踏みにじる行為に他なりません。

また、いじめは友情と正義の問題としてもとらえることができます。友情や正義は人と人の交わりの中で育ちます。人とよいかかわりをもとうとする心から、友情や正義が生まれてくるのです。自分を表現する勇気、それを受け止める友情、そしていじめグループの脅しをものともしない級友たちの勇気と正義感などを通して、私たちは人と人とのかかわり方を自分の課題として考えることができます。

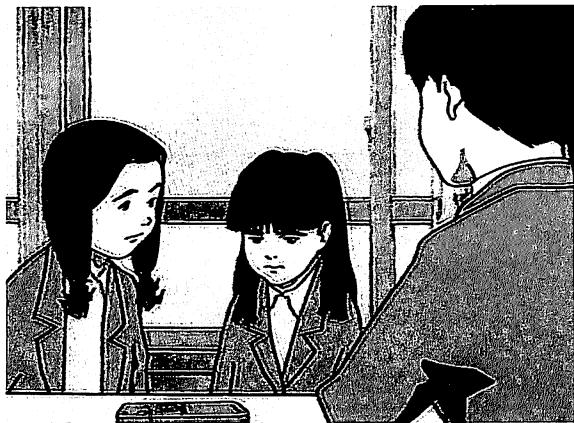
あらすじ

いつも一人ぼっちで、学校では口をきかない幸子はある日、加藤先生の机の上にそっと手紙を置いた。幸子のことを気にしていた先生は、彼女が小学校時代からのいじめによって言葉を奪われていたことを知り、その解決のため、クラスの加奈子たちに協力を求める。

関東営業所 東京都中央区京橋2-4-12 〒104 ☎03-3272-5191
新潟出張所 新潟市東堀前通り六番町 〒951 ☎025-222-3091
関西営業所 大阪市北区曾根崎新地1-13-22 〒530 ☎06-345-9026
広島出張所 広島市中区国泰寺町1-5-31 〒730 ☎082-249-3930
高松出張所 高松市本町11-7 〒760 ☎0878-51-3766
中部営業所 名古屋市中区錦3-24-3 〒460 ☎052-971-0923
九州営業所 福岡市博多区博多駅中央街5-12 〒812 ☎092-473-8541
東北営業所 仙台市青葉区二日町13-26-305 〒980 ☎022-222-7613
北海道営業所 札幌市中央区南一条西7-4 〒060 ☎011-231-1439

そんなおり、1年1組が文化祭の出し物としていじめについての劇に取り組むことになり、実際にいじめを体験した幸子が主役にさせられてしまった。

幸子は加奈子たちから励まされながら劇に取り組むがなかなかうまくいかない。しかし、幸子は劇が出来上がりていくにつれ、クラスのいじめグループや、それを取り巻いて見ていた生徒たちも、いじめが、自分たちとかかわりのある問題であることに気付いていく。一方、いじめグループの一人である石田もまた、いじめられていたのだった。また、リーダー的存在の森は家庭の問題からくる悩みをかかえ、ゆがんだかたちでしか自分を表現することができないでいた。しかし、劇を作りあげようとする気持ちがやがてみんなの心を一つにし、幸子や石田、森だけでなくクラスみんなを変えていくことになった。



製作……東映株式会社

プロデューサー……木村滋 美術監督……河野次郎
早川光相 撮影……齊藤秋男
脚本……酒井修 製作協力……スタジオ・ジュニオ
監督……神戸守
作画監督……赤堀重雄
（声の出演）
北川幸子……鈴木砂織 森たかし……柏倉つとむ
加藤先生……塩屋浩三 石田真……阪口大助
伊藤加奈子……浦和めぐみ

●お買い上げは……